

「車内飲酒」の考現学：首都圏における2010年代の参与観察から

Modernology of “Drinking in an Ordinary Train”:

Based on the Participant Observation in 2010s Tokyo Metropolitan Area

濱 雄亮

Yusuke Hama

要旨

車内での飲食を前提にして「いない」列車内における飲酒（以下、「車内飲酒」）について、「参与観察」を行った。「車内飲酒」者は、席に座らない・つまみを食べない・会話をしないという、通常の酒席における飲酒者とは対照的な飲み方をする傾向があることが明らかになった。そこからは、①「車内飲酒」者は「車内飲酒」者なりに周囲に気を遣っているということ、②「車内飲酒」は現代的な「ちょい飲み」の一形態であるということ、③「車内飲酒」には「昭和的車内飲酒」と「平成的車内飲酒」の2つの極を想定することが当該現象の理解に有益であること、以上の3点が示唆された。

キーワード： 車内飲酒 日本飲酒史 考現学 参与観察 ちょい飲み